



第 31 回鋼構造基礎講座

「鋼橋の設計法— これからの設計者に求められる鋼橋の設計法 —」

行事コード：25610／ 略称：31 回鋼基礎講座

鋼構造委員会鋼構造継続教育推進小委員会では、土木学会継続教育（CPD）の一環として、鋼構造の維持管理実務設計実務に携わる初級技術者から中級技術者を主な対象とし、第 31 回鋼構造基礎講座「鋼橋の設計法」を下記のとおり開催します。

平成 24 年に改訂された道路橋示方書において、維持管理の確実性の考慮が設計理念として示され、合理化のみを追求してきた橋梁形式の課題も出てきているように見受けられます。さらに道路橋示方書鋼橋編の部分係数設計法導入が間近に控えています。どのような視座に立てば、良い橋が設計できるのか、今一度考える時期に来ているのかもしれませんが、このような時期に、設計の各テーマについて、その動向の最先端におられる識者の方々の話を聞き、これからの設計業務の糧にいただければと考え、下記プログラムの基礎講座を 10 月 13 日に企画しました。

鋼橋の設計をこれから勉強しようという方、勉強中の方、鋼橋の設計に関する課題を抱えておられる方、若い設計者の指導に当たられている方など、どの立場の方々にとっても参考になることと思います。ふるってご参加ください。

1. 主催 土木学会（担当：鋼構造委員会 鋼構造継続教育推進小委員会）
2. 期日 2016 年 10 月 13 日（木）10:00～17:30 （受付開始は 9:30 です）
3. 会場 土木学会 2 階 講堂（東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）
4. 定員 100 名
5. 参加費 正会員 7,000 円，非会員 8,000 円，学生 2,000 円（テキスト(CD 付)代を含む）
6. プログラム 司会 小西 日出幸（鋼構造継続教育推進小委員会）
 - 10:00 – 10:10 : 開会の挨拶
小藤 輝正（鋼構造継続教育推進小委員会幹事長）
 - 10:10 – 11:10 : 鋼橋の部分係数設計法について— 一道示改定に関連して—
村上 茂之（岐阜大学）
 - 11:10 – 12:10 : 継手の設計とその耐久性について
山田健太郎（名古屋大学名誉教授）
（中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株) 顧問）
 - 12:10 – 13:10 : 昼食休憩
 - 13:10 – 14:10 : 鋼橋設計における維持管理の配慮について
玉越 隆史
（土木研究所構造物メンテナンス研究センター）
 - 14:10 – 15:10 : 鋼鉄道橋の設計の現状と今後の動向
池田 学（(公財) 鉄道総合技術研究所）
 - 15:10 – 15:20 : 休憩
 - 15:20 – 16:20 : 橋梁デザインに現れる地域文化
八馬 智（千葉工業大学）

- 16:20 – 17:20 : これから求められる鋼橋の設計
—目的は良い『橋』ができること、設計法は道具の一つです—
西川 和廣（土木研究センター 理事長）
- 17:20 – 17:30 : 閉会の挨拶
勝地 弘（鋼構造継続教育推進小委員会委員長）

なお、当日の講演内容、時間、講演者、講演順序等につきましては、都合により変更の場合がありますのでご了承下さい。

8. 申込方法

学会誌綴込みもしくは土木学会ホームページ内（<http://www.jsce.or.jp/event/active/form.pdf>）の「本部参加申込書」に所定の事項（特に行事コード番号）を明記のうえ、研究事業課行事担当宛にFAX（03-3355-5278）でお申し込み下さい。申込到着後、10日前後で折り返し「参加券」をお送りします。

土木学会個人会員の方は土木学会ホームページ

（<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>）から申し込みが出来ます。

※申込みに関してのお願い

- (1)申込締切日前に定員に達している場合がございますのであらかじめご了承ください。なお、締切日以降の事前受付はいたしません。ただし、定員に余裕がある場合のみ、行事当日に会場で受付いたします。
- (2)お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は、必ず開催日の1週間前までに下記「申込問合せ先」にご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますのであらかじめご了承ください。
- (3)申込みをされる前にご送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします。

9. 申込期限 2016年9月29日（木）

10. 問合せ先 （公社）土木学会鋼構造委員会（事務局担当：尾崎）

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内 TEL 03-3355-3559

11. 詳細 <http://www.jsce.or.jp/event/frameset.htm>